

- 1 中東・北東アジア情勢—すべての基地撤去を求める運動へ
 - 2 政策遂行の決断力なき政権と国民の落胆
 - 3 政治はどこへ向かうのか
-

A（朝日）、M（毎日）、Y（読売）、N（日経）、サ（産経）、H（赤旗）の略号です。新聞以外の記事は扱っておりません。また、外国関係の記事は、全て現地時間に合わせていますので、御留意下さい。

ニュースヘッドライン

1 中東・北東アジア情勢—すべての基地撤去を求める運動へ

☆普天間移設—鳩山政権の最後のあがき

4. 19 普天間移設—鳩山首相（記者団）、4. 18 徳之島 1. 5 万人大集会について「大変なエネルギーだ。一つの民意だと理解すべきだと思う。そういう民意も勉強しながら、政府として普天間の移設先を真剣に考えていきたい」／平野官房長官（記者会見）、「（鳩山首相が移設先を直接訪問して自ら説明する可能性について）そういうことも当然、視野に入れながら、政府としてお願いすべきはお願いする」「（5 月末決着の場合の首相退陣論について）進退にかかわるとは思わない。いろんな政策課題があり、首相が政策遂行の方向を持続していけば問題はまったくない」（4. 19M 夕）

⇒4. 19「徳之島」撤回要請—民主鹿児島県連・川内博史代表、鳩山首相と会談し／鳩山首相「まだ正式な案が決まっているわけではない。白紙撤回も何も、そういう状況じゃない」（4. 20M）

⇒4. 19 北沢防衛相（記者団）、「かりに徳之島でお願いするということになれば、今の状況はなかなか厳しいものがある」（4. 20M 夕）

⇒4. 20 徳之島 3 町長、会談拒否—鳩山内閣、徳之島 3 町長に対し、平野官房長官との会談申し入れに対し→徳之島案、絶望的に（4. 21A）→4. 21M「徳之島に政府打診、普天間に移設—3 町長は会談拒否—交渉、入り口から頓挫」「普天間移設徳之島に打診—成算なき正面突破、首相『県外』固執し続け」「米軍受諾見通し立たず」「『命がけで反対する』—住民投票望む声も」

⇒4. 21 鳩山首相、党首討論で—「（米ワシントン・ポスト評について）私はおろかな総理かもしれない」「（日米合意で移設先とされた）辺野古の工事は進んだか。あとちょっとで普天間が返還できる状態ではなかった」「地元よりも、まず腹案が米国に理解されるかどうかを水面下でやり取りしないといけない」など（4. 22A）→4. 22A「徳之島対応官邸バラバラ—平野氏、指示独断—首相に事後報告—首相、沖縄入り示唆、移設案説明」／M「普天間腹案『地元より米の理解先』、党首討論—『移設』混迷ぶり露呈、誠意強調『私は愚直』多用」「（社）

普天間討論—自信の根拠が知りたい」／Y「首相『腹案云えぬ』一点張り、党首討論—『普天間 2014 年移設』遅れも」「(社)党首討論—首相の逃げの一手は許されぬ」

⇒4.23 共産志位委員長、鳩山首相と党首会談—普天間基地問題で「無条件撤去の決断」を求める (4.24H)

⇒4.22 米、「普天間早く正式提案を」—カート・キャンベル国務次官補 (ワシントン、読売新聞と単独会見)、「これまでの日本政府案は『アルディア』『構想』と称して提示した」「今はもう、精力的に前に進むべき時だ。米国は、部隊の運用面での現実と、政治的制約の2点を踏まえたまじめな提案が、日本から出してくれば、真剣に検討する用意がある」(4.23Y夕)

⇒4.25 沖縄、10 万人集会—普天間基地の県外・国外移設を決議

☆県民9万人大会—基地撤去運動への第一歩

- 4.25 普天間「県内移設反対9万人集会(読谷村運動広場) (4.26 各紙朝刊)—全政党、全市町長、県知事ら参加→4.21A「普天間『県外へ』決議—沖縄県民大会、知事は明言せず—政府案依然展望なし」「動けぬ沖縄知事—政府との距離悩む、鳩山政権行きつ戻りつ」「(社)沖縄県民大会—基地を全国の問題として」「変えたい沖縄の日常、県民大会—17 歳『基地の危険考えて』」／Y「『政府対沖縄』決定的に、9 万人県民大会—全市町村代表出席、首相の『裏切り』に反発—移設先、地元合意抜きで決定も」／H「沖縄心一つ県民大会9 万人—島ぐるみ『基地要らぬ』」「県民大会—平和で豊かな沖縄へ世代超え—条件付きでは解決できない、宜野湾・名護・うるま3 市長—みんなが自分の問題として、高校生代表—自然を破壊 生活を窮地に、勝連漁協・赤嶺博之組合長」「鳩山さん、これが沖縄の声だ、県民大会9 万人—基地な



4・25 沖縄県民大会・読谷村運動場 (中日新聞 2010.04.26 より)

い未来作ろう、本土代表団も唱和」「(主)普天間基地撤去—鳩山政権の決断が問われる」
→4.26N「内閣支持率24%、12ポイント下落—普天間問題『未決着なら退陣』57%」「県民大会、『普天間国外・県外』求める—首相一段と窮地に—修正現行案採用なら、社民、連立離脱も」

参考—宜野湾市長の決意表明

<http://blog.goo.ne.jp/awamori777/e/450e57f08f6535b0d17bf90e5a03de10>

2 政策実現の決断力なき政権と国民の落胆

4.18 民主小沢幹事長、両親の「しのぶ会」(地元・岩手県奥州市、約2,500人参加)／小沢氏「最後の総仕上げのつもりで、日本に民主主義を定着させるため、残りの人生を頑張っていく」と挨拶(4.19T)

4.18 「日本創新党」結成—東京都・山田宏・杉並区長ら—党首・山田氏、代表幹事・中田宏・前横浜市長、政策委員長・斉藤弘・前山形県知事—「応援首長連合」リスト＝上田清治・埼玉県知事、松沢成文・神奈川県知事、河村たかし・名古屋市民ら26氏(4.19A)→4.21T「『松下政経塾』色濃く—首長新党・日本創新党とは、党首・代表幹事ともOB」「『強引な手法』批判も—借金減実績強調するが…、『若手のタカ派集まった』」

4.19 A(世論調査)4.17～18 電話調査—2,083人回答(60%)

- ① 鳩山内閣—支持25%、不支持61%
- ② 参院選での民主の議席—過半数を占めた方がよい23%、過半数を占めない方がよい65%
- ③ 鳩山首相の仕事振り—期待以上だ0%、期待通り13%、期待はずれ53%、もともと期待していない31%
- ④ 普天間移設を5月末までに決着できない場合、首相は—辞任すべきだ51%、辞任不要40%
- ⑤ 政治資金問題で小沢幹事長は—辞任すべき76%、辞任不要19%
- ⑥ 民主、自民に対抗できる大きな政党が—できた方がよい52%、そうは思わない37%

4.19 M(世論調査)4.17～18 電話調査1,044人回答(68%)

- ① 鳩山内閣—支持33%、不支持52%、関心なし15%
- ② 普天間移設で5月末決着できない場合、鳩山首相は—退陣すべし53%、退職不要45%
- ③ 与謝野氏らの「たちあがれ日本」に—期待する21%、期待しない78%
- ④ 政府の郵政改革案に—賛成33%、反対64%
- ⑤ 参院で民主の単独政権ができること—望ましい23%、現連立政権が望ましい19%、他政党との連立政権が望ましい53%

→4.20A「みんなの党急上昇—34歳の新顔想定外の健闘、



「起き上がれ日本」 結成疲れ？

多摩市長選二大政党以外の受け皿」「(社)政党離れ—有権者を見くびるからだ」「地方選伸びぬ民主—政権交代前、11勝13敗—後、18勝35敗—党への逆風直撃、組織力の強化課題」

☆強制起訴—明石市歩道橋事故と宝塚線脱線事故

- 4.20 明石市歩道橋事故で初の強制起訴—01年7月21日明石市で発生した事故（死者11人、負傷247人）で業務上過失致死傷で榊和暁・元明石署副署長（63）を在宅起訴—神戸第二検察審査会の起訴相当決議を受けて（4.20A夕）

⇒4.21 自立支援法違憲訴訟、全て和解成立—東京地裁（八木一洋裁判長）、自立支援法による自己負担取消請求訴訟で成立—同法廃止を盛り込んだ2010基本合意を確認し、金銭請求を放棄／2008.10同一訴訟が全国14地裁に（原告数計71人）→2010.3より順次和解（4.21Y夕）

⇒4.21 鳩山首相、原告に陳謝—原告・弁護士ら約120名と面談（首相官邸で）—「ご迷惑をおかけした。申し訳ない、という思いでいっぱいだ」「最終的には障害者差別禁止法まで作りたい」（4.22A）

⇒4.22 裁判制度「合憲」判決—東京高裁（小西秀宜裁判長）、裁判員制度の違憲性を争点とした刑事裁判（宇都宮地裁殺人事件—被告人・中国人男性に対する懲役18年判決）で「裁判を受ける被告人の権利を侵害せず」と判示（4.22各紙夕刊）

⇒4.23 J R宝塚線脱線事故で強制起訴—検察官役指定弁護士、J R西日本歴代社長3人を業務上過失致死傷罪で在宅起訴—神戸第1検察審査会の起訴相当決議を受けて（4.24A）

3 政治はどこへ向かうのか

☆政権迷走の極みと自民党の溶融現象

- 4.21 民主・小沢幹事長、高速新料金見直し要求（政府・与党首脳会議で）—国交省の6月導入高速道路新上限料金制度につき／小沢氏「一部値上がりしているのはおかしい」、鳩山首相「引き取らせてもらう」と受け入れ（4.22M）→4.22Y「高速料金、政権迷走—小沢氏の一声で再検討」

⇒4.22 前原国交相、「新料金見直さず」と反発（4.22A夕）

⇒4.22 鳩山首相「新料金見直し」撤回（記者団）—「現時点では見直さないが、国会の審議で見直すかどうか決めて頂きたい」（4.23A）→4.23A「高速料金、政権ジグザグ—修正判断国会に丸投げ、小沢・前原両氏の顔立てる」「(社)高速料金迷走—ご都合主義で、小手先で」／T(社)「高速新料金—国民無視の『大迷走』だ」→4.24M(社)「高速料金迷走—右往左往にうんざりだ」

⇒4.23 前原国交相、小沢幹事長を批判「高速道路の建設を促進する要望しておきながら値段が上がってはいかん、というのは二律背反だ」（4.23Y夕）

- 4.22 鳩山首相「偽装献金事件」で有罪判決—東京地裁（平木正洋裁判長）、総額約4億100万円の虚偽記載した政治資金規正法違反事件で元公設第1秘書・勝場啓二被告（59）に対し、禁固

2年執行猶予3年の判決―「政治活動に対する国民の信頼は著しく損なわれた」と判示(4.23A)

⇒4.22 鳩山首相、国民にお詫び―「政治家としての責任を痛感している。国民にお詫びしたい。このことは一生の戒めとしたい」「公表問題」政治資金規正法にかかわることは収支報告書を訂正し、公表する。それ以外のプライバシーにかかわるものは全てを公表する必要はないと考えている」(4.23Y)

4.23 舛添氏ら「新党改革」結成―参院議員6名参加、党代表に舛添要一氏、幹事長に荒井広幸氏／舛添氏「鳩山政権の迷走ぶりに国民は失望している。しかし自民党政権の復活は望んでいない。我々は金のかかる政治と決別したい」(4.24A)→4.24A(社)「またまた新党―『第三極』への道は遠い」

4.23 鳩山首相「事業仕分け」第2弾―「独法経費の無駄追及」4名のパフォーマンス→4.28まで4日間(4.23各紙夕刊)